

エンジンオイル

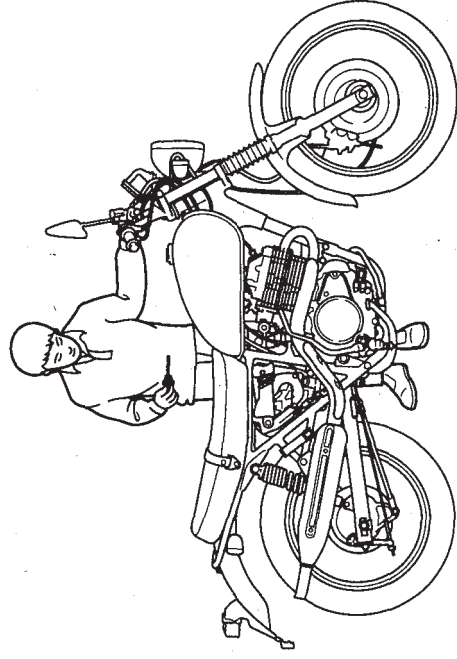
エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラーやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

この車の潤滑装置はドライサンプ方式を採用しています。
エンジンオイル量の点検は下記の手順で行ってください。

エンジンを始動して、オイル量の点検をする前に、以下の点検を行ってください。

1. 右サイドカバーを取外します。
(24ページ参照)
2. オイルレベルゲージを外します。
3. 布などでオイルレベルゲージについたオイルを拭きます。
4. 車体を垂直に立て、オイルレベルゲージをねじ込まずに差し込み、レベルゲージにオイルが付着するかを確かめます。

5. レベルゲージにオイルが付いた場合は、51ページ記載の要領でオイル量の点検をします。



オイルレベルゲージ

